

投稿規程

(2025年1月17日施行)

- I. 「医学教育」の目的
- II. 論文種類
- III. 原稿作成
- IV. 報告ガイドライン
- V. 投稿方法
- VI. 査読プロセス
- VII. 編集方針と出版倫理
- VIII. 採択後の校正
- IX. 著作権
- X. 掲載料
- XI. 別刷
- XII. 広告方針

I. 「医学教育」の目的

「医学教育」(以下、「本誌」という)は、日本医学教育学会(以下、「本学会」という)が発行する査読付きのオープンアクセスジャーナルである。本誌は医師、医学生を対象とした医学教育のみならず、広く医療人の育成を扱う学術論文を掲載し、学会員に資する情報交換を行うことを目的とする。なお、すべての論文は研究分野の著名な専門家による完全かつ広範な査読を受ける。本誌は隔月発行(2, 4, 6, 8, 10, 12月)に加え、Supplement号を発行している。著者は「医学雑誌編集者国際委員会(ICMJJE)が定める医学雑誌における学術研究の実施、報告、編集、および出版への勧告」に沿って論文を執筆すること。

本誌は英語論文の投稿も受け付けている。英語論文の投稿規定は後述を確認すること。

II. 論文種類

本誌は下記の論文を受け付けている。論文種類を決定したら、投稿規程の原稿作成欄を参照すること。採用論文の論文種類は編集委員会が最終的に決定する。

1) 原著

先行研究の知見から導き出された独創的なりサーチクエスションに基づく研究論文の区分である。研究方法論としては、量的研究、質的研究、文書研究、実験研究、観察研究、アクションリサーチ等を含む。原則として本文には、海外と国内の研究調査に基づく本テーマの重要性、先行研究からわかっていること、わかっていないこと、確固たる研究目的、存在論/認識論や理論的枠組み、教育理論への貢献、新たな知見の提示等が含まれること。人を対象とする場合は倫理審査が必要である。

2) 総説

複数の論文、根拠となる文献等を体系立ててまとめ、そのテーマを概説しつつ新たな概念・展望を提示する論文の区分である。倫理審査は不要である。

3) 短報

限られた知見、少数のエビデンスに基づく読者に有用な論文の区分である。例えば、教育に関する少数の調査データを分析した研究や、教育実践の単回で少数の量的あるいは質的な評価・検証を行った教育事例報告、学生、研修医等が主体的に取り組んだ萌芽的な教育研究等が含まれる。人を対象とする場合は倫理審査が必要である。

4) 実践報告—新たな試み—

他に類を見ないユニークな教育実践の共有を目的とする実践報告の区分である。教育実践の詳細に加えて、教育理論、モデル、他分野の教育方略等に基づく設計の背景や実践の振り返りを記述すること。アンケートやインタビュー等の倫理審査を必要とするデータは含めない。

5) 視点

医学教育にまつわる事象に関して、様々な分野における知見を踏まえ、教育学の観点からその事象を考察し新たな視点を建設的に提示する区分である。新たな研究・調査データは扱わないこと。

6) 学生からの提案

医学教育にまつわる事象に関して、学生の斬新かつ建設的な意見や提案を掲載する区分である。投稿者は学生であること(大学院生を除く)。

7) 論文を読んで

本誌に掲載された論文に対する意見を掲載する区分である。

8) 掲示板

・書評
最近出版された医学教育関連の単行本の書評(主に招待論文)。

・文献紹介
国内外で発表された論文や書籍で、医学教育に役立つと思われるもの。

9) 偲ぶ声

逝去された日本医学教育学会会員を追悼する文章。

III. 原稿作成

原稿の準備とフォーマットに関する情報は、ICMJJEが発行する「医学雑誌における学術研究の実施、報告、編集、および出版への勧告」に一部基づいている。投稿規程に記載されていない情報は、ICMJJEの勧告を参照すること。

既に他で発表されている図表や文章を原稿内に含める場合は、著作権保有者の許諾を得る必要がある。著者は原稿提出時に著作権保有者からの許諾書を提出し、原稿中の著作物には出典を明記すること。

著者が英語を母国語としない場合、投稿前に英語を母国語とする者（できれば、医学校正の専門知識を有する者）による校正を受けること。

以下の規定を準拠していない原稿は、査読に回される前に著者に差し戻される。

本誌は本学会の機関紙であるが、会員資格にかかわらず、国内外から広く投稿を受け付ける。

3.1 基本フォーマット

以下の規定に沿って、正しくフォーマットされた原稿を作成すること。本文はすべてダブルスペースとする。査読者がコメントしやすいように、原稿全体に連続した行番号とページ番号をつけること。

また、原稿は新仮名遣い、口語体、常用漢字による日本語で執筆すること。

原稿の構成は以下の順にすること。

- ・タイトルページ
- ・要旨
- ・キーワード
- ・本文
- ・参考文献
- ・図説
- ・図
- ・表と脚注

3.1.1 タイトルページ

タイトルページは本文とは別に作成し、以下の情報を記載すること。

- ・論文種類
- ・日本語の原稿タイトル
- ・英語の原稿タイトル（30字以内）
- ・日本語のランニングタイトル（25字以内）
- ・英語のランニングタイトル（8語以内）
- ・著者全員の氏名（日本語、英語両方）
- ・都市名、国名を含む、全著者の所属機関名（日本語、英語両方）
- ・責任著者の氏名、住所、電話番号、電子メールアドレス（日本語、英語両方）
- ・本文の単語数
- ・図表数
- ・利益相反
- ・論文への資金提供
- ・著者の貢献内容。詳細は、[ICMJJEのウェブサイト](#)を参照すること。
- ・施設内審査委員会（IRB）が発行した承認番号および承認を与えた施設名
- ・適切なインフォームド・コンセントを得た旨の記述。研究参加者の同意が免除されている場合、その理由を明記すること。
- ・謝辞

3.1.2 本文

要旨とキーワード

以下の規程に沿って、原稿には400字以内の日本語要旨、250単語以内の英語要旨を含めること。

・原著

日本語見出し：背景、方法、結果、結論

英語見出し：Background, Methods, Results, Conclusions

・総説

ナラティブレビュー日本語見出し：非構造化または構造化（背景、方法、結果、結論）

ナラティブレビュー英語見出し：非構造化または構造化（Background, Methods, Results, Conclusions）

スコーピングレビュー日本語見出し：背景、方法、結果、結論

スコーピングレビュー英語見出し：Background, Methods, Results, Conclusions

システムティックレビュー日本語見出し：背景、方法、結果、結論

システムティックレビュー英語見出し：Background, Methods, Results, Conclusions

・短報

見出し：非構造化

・実践報告—新たな試み—

見出し：非構造化

・視点、学生からの提案、論文を読んで、掲示板、偲ぶ声

要旨不要

要旨は正確かつ明瞭で、十分に理解しやすいものでなければならない。論文種類にかかわらず、1～5個のキーワードを含めること。また、キーワードを英訳したものも含めること。

本文

本文はMicrosoft社のWord（.docまたは.docx）で作成すること。著者は以下のフォーマットで原稿を用意しなければならない。

・原著

見出し：背景、方法、結果、考察

文字数：3,000字以上、8,000字以内

図表数：5個以内

文献数：30編以内

・総説

文字数：5,000字以上、8,000字以内

図表数：5個以内

文献数：30編以上、50編以内

・短報

文字数：3,000字以内
 図表数：2個以内
 文献数：10編以内

・実践報告—新たな試み—

見出し：問題提起，実践内容，振り返り
 文字数：3,000字以上，6,000字以内
 図表数：3個以内
 文献数：15編以内

・視点

文字数：1,600字以内
 図表数：1個以内
 文献数：5編以内

・学生からの提案

文字数：1,600字以内
 図表数：1個以内
 文献数：5編以内

・論文を読んで

見出し：不要
 文字数：1,600字以内
 図表数：掲載不可
 文献数：5編以内

・掲示板

文字数：1,600字以内
 図表数：1個以内
 文献数：5編以内

・偲ぶ声

文字数：1,000字以内
 図表数：掲載不可

3.2 参考文献

著者が参考文献を正確に記載すること。人工知能（AI）が作成した資料を参考文献に含めることは認められない。参考文献欄は、本文の直後に「参考文献」の見出しで記述すること。著者は、参考文献を番号順に引用し、上付き文字で示さなければならない（例えば、上付き文字1で示すこと）。連続する3編以上の参考文献を引用する場合、「3-5」のようにハイフンを用いて範囲表示すること。著者が3人以上の場合、最初の3人までを記載する。

参考文献例

[雑誌]

1. Guiot BH, Khoo LT, Fessler RG. A minimally invasive technique for decompression of the lumbar spine. *Spine* 2002; 27(4): 432-8.
2. 伴信太郎, 津田司, 田坂佳千・他. 学生実習に対する患者の受け止め方の検討. *医学教育* 1994; 25(1): 35-42.

[日本語, 英語以外の言語で執筆された論文]

3. Paroussis D, Papaoutsopoulou C. [Porcelain laminate veneers (HI-ERAM)]. *Odontostomatol Proodos* 1990; 44(6): 423-6. Greek. [Homepage]

4. Complementary/Integrative Medicine [Internet]. Houston: University of Texas, M. D. Anderson Cancer Center; c2007 [cited 2007 Feb 21]. Available from: <http://www.mdanderson.org/departments/CIMER/>.

[書籍（単著）]

5. Jenkins PF. Making sense of the chest x-ray: a hands-on guide. New York: Oxford University Press; 2005. 194 p.

[書籍（章）]

6. Riffenburgh RH. Statistics in medicine. 2nd ed. Amsterdam (Netherlands): Elsevier Academic Press; 2006. Chapter 24, Regression and correlation methods; p.447-86.

[書籍（一部引用）]

7. 吉岡昭正. 教員と学生. 医学教育の原理と進め方. 医学教育マニュアル1（日本医学教育学会編）. 東京：篠原出版新社；1978, p.1-13.

雑誌名は、[NLM Catalog](#)に掲載されている形式で略称を記載すること。NLM Catalogに掲載されていない雑誌は、[ISSN List of Title Word](#)や[医学中央雑誌](#)で雑誌名の略称を確認する。不明な場合は、雑誌名の正式名称を記載すること。

その他の記載形式や詳細については、[米国国立医学図書館](#)が発行している[Citing Medicine](#)を参照すること。

3.3 測定の単位

長さ、身長、体重、体積の測定値は、メートル、キログラム、リットルのメートル単位で報告すること。体温は摂氏、血圧は水銀柱ミリメートルとする。測定値はすべて国際単位系（SI）に従うこと。℃、%以外は、各数値と単位の間スペースを1つ入れなければならない。

本文、図、表の測定単位には、リットルを表す大文字の“L”を使用する（例：g/dL, mg/dL, IU/L, mEq/L）。

3.4 略語

一般的に用いられる略語を除き、論文タイトルに略語を含めないこと。略語は本文および各図表に最初に記載する時点で定義し、以後は略語を使用すること。

3.5 製品、装置、薬品の名称

論文内の議論に不可欠な場合を除き、製品、装置、薬品やその他のサービスの具体的な商品名は使用してはならない。必要な場合には、詳細に説明するような名称を記載すること。

3.6 図表

図表には番号を付け、本文中では番号順に引用すること(例:図1, 図2, 表1, 表2)。

原稿中に著作権で保護されたもの、既発表のもの、編集されたものなどが使用されている場合、投稿前に著者責任で著作権保有者の許可を得ること。また、著者は著作権保有者の指示に従い、出典を記載し、対応する図の説明や表の脚注に使用許可を得ている旨を明記しなければならない。また、著者は原稿提出時に著作権保有者からの許諾書を提出しなければならない。

3.6.1 図

すべての線画および写真は、図に分類される。図はJPEG (.jpg), または Tagged Image Format (.tiff) で提出すること。

3.6.2 図説

原稿に掲載されたすべての図に対する図説を作成し、「参考文献」の後に別ページで記載すること。図説は、本文を参照しなくても理解できるものでなければならない。

3.6.3 表と脚注

表はMS Word (.doc/.docx) またはPowerPoint (.ppt/.pptx) で作成し、列の見出しはできるだけ簡潔にして単位を示すこと。脚注は、本文を参照しなくても理解できるものでなければならない。また、脚注には、a), b), c) などのラベルを付け、表と同じページに記載すること。

IV. 報告ガイドライン

臨床研究に関する様々な研究デザインに対して、様々な報告ガイドラインが作成されている。著者は、研究分野ごとに公表されている標準的な報告ガイドラインに従うことが推奨される。

●観察研究に対するSTROBE (<http://stroke-statement.org/>)

●システマティックレビューおよびメタアナリシスに関するPRISMA (<http://prisma-statement.org/>)

●診断精度の研究に対するSTARD (<http://www.equator-network.org/reporting-guidelines/stard/>)

●性・性別情報の報告に関するSAGER (<https://www.equator-network.org/reporting-guidelines/sager-guidelines/>)

研究に適したガイドラインを見つけるには、<http://www.equator-network.org> にアクセスすること。報告ガイドラインの目的は、原稿の報告基準を改善するための指針を示すことである。報告チェックリストだけを完成させるのではなく、チェックリストそのものを原稿執筆に活用することも目的となる。そのため、報告ガイドラインのチェックリストに記入する際には、論文が報告基準のすべての問題に対応していることを確認するために、原稿修正を検討することが極めて重要である。時間をかけて、原稿が報告ニーズを

満たしていることを確認することで、原稿は大幅に改善され、最終的に出版される可能性も高まる。

V. 投稿方法

原稿は、Editorial Manager (<http://www.editorialmanager.com/mededjapan/>) から投稿すること。

投稿時にはEditorial Managerにログインし、画面の指示に従って投稿すること。なお、本誌に初めて投稿する前にはユーザー登録が必要となる。電子投稿の手順やファイルのアップロードに関する質問がある場合は、編集部 (igakyou@shinoharashinsha.co.jp) まで連絡すること。

すべてのファイルは以下の順で投稿すること: 1) タイトルページ, 2) 本文, 3) 表, 図 (300dpi以上)。投稿された原稿は、自動的に剽窃チェックが行われ、剽窃率が30%以上の場合、該当著者に差し戻されることがある。

原稿提出の通知は、原稿に記載された著者全員にメールで送信される。

VI. 査読プロセス

本誌に投稿された論文は、シングルアノニマイズドの査読プロセスで進む。これは、査読者の身元は著者に明かされないが、著者の身元は査読者に明かされることを意味する。本誌に投稿されるすべての原稿にとって、査読は極めて重要な評価プロセスである。査読に回るすべての論文は、包括的、公正、公平な批評の評価を受ける。

投稿された原稿は、まず編集委員が査読し、掲載の適格性を評価する。編集委員は、研究の重要性と獨創性、読者への適合性と関心、原稿の質を評価する。審査に回す基準を満たした原稿は、通常、研究分野の専門家2名によって査読される。専門家による査読後、編集委員が査読コメントを確認し、採択、微細な修正を要する、大幅な修正を要する、不採択など、原稿掲載に関するすべての決定を行う。その後、編集委員会が採否を含む最終決定を行う。

本誌は、出版倫理委員会 (COPE) の「査読者の倫理指針」を遵守する。査読者は、査読前、査読中、査読後を問わず、原稿に記載された情報について著者と直接やり取りしてはならない。査読者は、原稿および得られた情報の秘密を厳守しなければならない。原稿の内容および原稿に含まれるその他の情報について、公に議論したり、第三者に開示したりしてはならない。なお、査読者のためのガイドラインを参照すること。

編集委員および査読者からのコメントとともに、判定通知は電子メールで送信される。

6.1 修正論文

修正するよう指示を受けた原稿は、査読者と編集委員双方のコメントに従って全面的に修正されることが期待される。また、著者は一つ一つのコメントに対する詳細な回答書を添付しなければならない。また、著者は、判定通知を受領してから6週間以内に修正原稿を提出しなければならない。修正原稿を提出する前に

著者全員の承認を得ること。

6.2 著者に編集委員や編集部が含まれる論文

編集委員会の委員，または編集部が投稿した原稿は，上記と同じプロセスに沿って進む。ただし，これらの編集委員は，自身の原稿に関する編集上のプロセスからは除外され，その原稿にアクセスすることも，判定通知に記載されている以外の査読プロセスに関する情報を得ることはできない。本誌の編集委員会の委員，および編集部が投稿する原稿には，雑誌との個人的な利益相反を宣言する声明を含める必要がある。

Ⅶ. 編集方針と出版倫理

7.1 概要

本誌は，雑誌出版における国際基準を遵守する。また，本誌は，ICMJEによる医学雑誌における学術研究の実施，報告，編集，および出版への勧告および，COPE, Directory of Open Access Journals (DOAJ), 世界医学雑誌編集者協会 (WAME), オープンアクセス学術出版協会 (OASPA)，による共同声明である学術出版における透明性とベストプラクティスの原則，<https://doaj.org/apply/transparency/>を支持し，遵守している。

7.2 著者資格，論文貢献者

原稿に記載される著者は全員，ICMJEが「医学雑誌における学術研究の実施，報告，編集，および出版への勧告」で定義する以下の4つの貢献基準を満たさなければならない。

- 1) 研究の構想もしくは設計，またはデータの取得と解析に対する実質的な貢献。
- 2) 原稿を作成すること，または重要な知的コンテンツについて批判的に推敲する。
- 3) 掲載版の最終的な承認。
- 4) 研究内容の正確性や完全性に関する疑問が適切に調査，解決されることを保証するため，研究内容のあらゆる側面について責任を負うことに同意する。

上記の4つの基準をすべて満たさない著者は，著者として掲載されるべきではない。また，ゲストオーサーシップやゴーストオーサーシップは認められない。

責任著者は投稿前に必ず原稿を読み，著者全員の承認を得なければならない。

著者資格を満たさない者に対しては，タイトルページの「謝辞」の中で，個人またはグループとして謝辞を述べるができる。著者資格を満たさない例として，資金獲得，研究グループの監督全般，一般的な事務支援および執筆支援，技術編集，言語編集，校正などがある。

著者は原稿を提出する前に，著者の順番について意見の相違があれば，話し合い，決定し，解決しなければならない。最終的な著者の順番は，査読プロセスの

論文修正段階が終了するまでに確定しなければならない。最初の原稿提出から最終的な採否決定までの間に，著者の順番変更，著者の追加，削除などの変更を行う場合は，著者全員で協議し，著者全員から承認を得ること。

掲載決定後の著者名の追加，削除，順番の変更は認められない。

7.3 AI支援ツール，技術の利用

COPEの見解，WAMEの勧告，ICMJEの勧告に基づき，本誌は，大規模言語モデル，チャットボット，画像作成ツールなどのAI支援ツール，技術を著者または共著者として記載することを認めない。ICMJEに記載されているように，これらのツールでは著作物の正確性，完全性，独創性に責任を持つことができないため，上記のICMJEの著者資格の基準を満たしていない。

AI支援ツールや技術の利用を含め，提出された論文のいかなる資料についても，著者（人間）が全責任を負う。AIは権威があるように見えるデータを生成することがあるが，それは不正確，不完全，または偏ったものである可能性があるため，著者は結果を注意深く確認し，編集する必要がある。著者は，AIやAI支援技術を著者や共著者として記載したり，AIを著者として掲載したりしてはならない。著者（人間）は，AIが生成した文言や画像に関する剽窃についても責任を負う必要がある。

著者は，原稿の執筆や論文の画像，図表の作成，データの収集や分析において，AI支援ツールや技術を使用した場合，投稿時に「方法 (Methods)」(または同様のセクション)において使用したことを開示しなければならない。

7.4 独占的投稿

他誌に掲載された論文，または掲載に向けて審査されている論文は，いかなる言語であっても受け付けることができない。原稿の投稿は，記載された研究が未発表であること，他誌で出版が検討されていないこと，共著者全員が出版を承認していることを意味する。原稿の採否はすべて編集委員が決定する。

7.5 守秘義務

原稿の詳細や著者情報，査読者の身元，編集委員および著者へのコメント，判定通知書の内容は，すべて機密情報とされ，第三者に開示されることはない。

7.6 余剰出版，多重出版

「in press (印刷中)」や「E-pub ahead of print」などの先行出版を含め，他誌への掲載が検討されている論文は，言語を問わず，余剰または多重出版とみなされる可能性がある。

著者は，余剰または多重出版とみなされる可能性が

ある投稿および過去の報告について、すべて編集委員に正式に報告しなければならない。また、そのような投稿や報告について原稿の中で参照、言及し、投稿や報告のコピーを原稿に添付しなければならない。なお、学術集会で発表された抄録やポスターは、既発表とはみなされない。学術集会で発表された研究については、「謝辞」に「この研究の一部は、第XXX回学術集会（開催年、開催月、開催都市）で発表されました」のような一文を含めること。

このような報告なしに余剰出版や多重出版が試みられたり、行われたりした場合、編集上の措置が取られることがある。編集上の措置には、投稿原稿の即時不採択、掲載論文の撤回、違反の公表、著作権の剥奪などがある。

本誌は、ICMJEの勧告に記載された基準および条件を満たす二次出版物のみ受理する。

7.7 利益相反と資金提供

ICMJEの勧告によると、利益相反（COI）は「第一の利益（患者の福利や研究の妥当性など）に関する専門的判断が、第二の利益（金銭的な利益など）によって影響を受ける可能性がある場合」に存在する。

すべての著者は、原稿で検討される主題、材料、プロセスに何らかの利害関係を有する営利団体、グループ、機関、またはその他団体との金銭的關係、活動、および所属について開示しなければならない。

原稿内の研究に関するCOIは、タイトルページ内で「利益相反」の見出しを付けて開示しなければならない。

原稿が採択となった場合、「利益相反」の欄に記載された開示事項はそのまま掲載される。COIがない場合には、タイトルページに「本論文に関連し開示すべき利益相反はなし」と記載すること。

研究に関連する団体政府機関や非営利団体などからの資金源はすべて、タイトルページに「論文への資金提供」の見出しを付けて明記すること。

●資金提供については、以下の書式に沿って記載すること：

「この研究は、XXX（資金提供者名、助成金番号）による支援を受けた。」

●研究助成を受けなかった場合、次のように記載すること：

「この研究は、公的、営利、非営利のいずれの助成機関からも特定の助成を受けていない。」

●資金提供者に関する正確な詳細と、関連する助成金番号を必ず記載すること。

7.8 研究倫理

・ヒトを対象とした医学教育研究や臨床研究、またはヒト由来の試料を報告する論文は、ヘルシンキ宣言を遵守しなければならない。また、「方法」の欄には、その研究が著者所属機関のIRBによって承認された旨、IRBが発行した承認番号、承認した機関名を記載しなければならない。倫理審査委員会の審査を受けることができない研究者は、ヘルシンキ宣

言に記載されている原則に従うこと。

- ・ヒトを対象とする研究では、写真を含む情報を公表することについて、すべての患者（または親や法定後見人）、研究参加者から書面による同意を得ていることを本文中に明記すること。
- ・患者や研究参加者の氏名、イニシャル、病院の患者識別コード（患者ID）、特定の日付、その他患者や研究参加者を特定できるようなデータまたは情報は、科学的目的および患者（または親や法的後見人）や研究参加者にとって不可欠な情報でない限り、図表を含む原稿内に記載してはならない。写真に個人を特定できる情報を含まないこと。

7.9 不正行為と出版倫理違反

- ・本誌の編集委員会メンバーは、不正行為の申し立てに対処する際、COPEの著者、査読者および編集者の責任ある研究発表のための国際基準を推進し、遵守する。詳細は倫理規程を参照すること。
- ・本誌に投稿された原稿は、すべて著者のオリジナルであり、いかなる言語のものであれ、他の既発表論文と重複してはならない。著者は、同じ原稿が他誌に同時に投稿されていないか、または他誌で審査中でないことを把握し、保証しなければならない。
- ・すべての著者は、投稿原稿の独創性と内容について全責任を負うこと。原稿に記載されたすべての記録とデータは、捏造、操作、改ざんのない正確なものではない。
- ・著者は、本誌または他誌への投稿数または掲載数を増やすために、一つの研究またはデータセットを意図的に分割（サラム出版）してはならない。
- ・他の情報元由来のデータ、テキスト、アイデア、理論などのすべての情報およびコンテンツは、参考文献欄に記載されているように、出典元を入れて引用しなければならない。
- ・不正行為が確認された場合、COPEが推奨するガイドラインに従って編集委員会が調査を行う。調査の結果、正当な懸念がある場合には、著者に連絡をして問題に対処する。論文が掲載された後に不正疑惑が提起された場合、編集委員長は「懸念表明」を掲載することができる。不正行為や出版倫理違反が立証された場合、その程度や重大性にかかわらず、撤回、不正行為の正式な通知の公表、著者の所属機関への正式な通知、本誌への今後の投稿禁止などが行われることがある。

VIII. 採択後の校正

原稿が受理されると、掲載証明書が発行される。また、受理された原稿は編集部で校正され、訂正が必要な箇所には、書き直しが必要であることを示すコメントが記載される。著者校正時、誤字脱字などの軽微な誤りの修正は問題ないが、それ以外の原稿受理後の修正、訂正は、編集委員会の要請がない限り認められない。著者は編集部の指示に従い校正を行うものとする。校正終了後、著者は直ちに校正刷りを編集部に戻送すること。

掲載後の変更、訂正は、正誤表を発行する形式でのみ行うことができる。なお、正誤表は掲載論文とリンクするものとする。

IX. 著作権

本誌に掲載された論文およびその内容の著作権は、本学会に帰属する。論文の投稿にあたって、著者全員が著作権を本学会に譲渡することに同意する必要がある。本誌は、Creative Commons Attribution-Non-Commercial-ShareAlike 4.0 International License (<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/4.0/>) の下で発行されるオープンアクセスジャーナルである。本誌に掲載された論文は、出典を適切に表示すれば、非営利目的であれば誰でもダウンロード、再利用、複写、転載、配布、変更することができる。営利目的または商用利用の場合、編集委員会の書面による許可が必須となる。また、リミックス、改変、加工する場合は、元の作品と同じライセンスで頒布しなければならない。

X. 掲載料

掲載料（制作費用）は著者に請求される。掲載料は

文献ページを除いて1ページあたり10,000円（税別）となり、8ページまで無料とする。

請求書は論文掲載前に編集部から送付される。編集部で入金を確認してから論文掲載となる。

XI. 別刷

論文のPDFファイルは掲載号発行後、J-Stageから無料でダウンロードできる。有料別刷を希望する際には30部単位で編集部に申し込むこと。

XII. 広告方針

本誌は、編集上の意思決定における潜在的な利益相反を避けるため、また、競合する可能性のある企業の広告が本誌掲載論文と掲載されることを避けるため、製薬会社、機器メーカー、その他いかなる営利団体からの広告を受け付けない。

問合せ先：

「医学教育」編集部

E-mail: igakyou@shinoharashinsha.co.jp

倫理規程

(2025年1月17日施行)

「医学教育」（以下、「本誌」という）の編集委員会、不正行為の申し立てに対処する際、出版倫理委員会（COPE）の著者および編集者の責任ある研究発表のための国際基準で概説された推奨手順に従う。

すべての著者は、投稿論文の独創性と内容について全責任を負う。論文に記載された記録やデータはすべて正確でなければならず、捏造、改ざん、剽窃などの研究上の不正行為、その他の研究上、または出版上の不正行為は一切行ってはならない。

不正行為が確認された場合、編集委員会が調査を行う。すべての不正行為および出版倫理違反は、その程度にかかわらず、撤回、不正行為の通知の公表、および今後の本誌への投稿の禁止につながる可能性がある。

1. 出版不正行為の定義

捏造

捏造とは、データや研究結果を捏造し、意図的に欺く目的で記録、報告することである。

改ざん

改ざんとは、誤った印象を与えることを意図した、不正確な研究結果の提示である。これには、研究機器、材料、手順の操作、データの変更、追加、省略、画像の操作、研究結果の省略が含まれる。

出版用の科学的画像の加工は、最小限でなければならない。明るさ、コントラスト、色彩などの調整は、

これらの調整が画像全体に一律に適用され、背景を含む元の画像の要素を選択的に強調したり、除去したり、誤って表示したりしない限り許容される。

剽窃

剽窃とは、適切な出典を記載することなく、他人のアイデア、手順、結果、言葉、理論をあたかも自分のものであるかのように使用することである。これには、図表を含む原稿のあらゆる部分が含まれる。他のリソースに由来するすべての情報および内容は、出典を明記し、引用し、文献欄に含めなければならない。投稿された原稿は、剽窃チェックサービスやソフトウェアを用いて自動的に剽窃チェックが行われ、文章の重複と原稿の独創性の両方が審査される。

冗長または重複出版

他の雑誌への掲載が検討されている論文（先行出版を含む）は、言語の如何を問わず、冗長または重複出版とみなす。

また、bioRxivやmedRxivなどのプレプリントサーバーやブログなどに掲載されたことのある論文は受け付けない。

著者は論文を投稿する際、冗長とみなされる可能性のある、あるいは同一または類似の研究の発表が重複するすべての投稿、投稿、過去の報告について、編集委員に正式に通知しなければならない。また、そのような文献は、投稿論文の中で参照、言及されなければならない。論文のコピーを投稿論文に添付する必要がある。

る。学術集会で発表された抄録やポスターは、既発表とはみなされない。

冗長または重複した出版が試みられた場合、またはそのような通知なしに出版が行われた場合、編集上の措置が取られる可能性がある。編集上の措置には、投稿原稿の即時不採用、掲載論文の撤回、違反の公表、雑誌における著作権の剥奪などが含まれる。

利益相反の未開示

すべての著者は、最初の構想、計画から研究の完了に至るまで、発表された研究に関連する金銭的關係、活動、関係、所属機関が存在する、または存在した場合、それを開示することが求められる。

引用の操作

参照していない文献を文献欄に含める、または無関係な著作物を自己引用するなどの引用操作は避けなければならない。

著作権侵害

他のリソースに由来するすべての情報およびコンテンツは、すべて出典を明記され、引用されなければならない。著作権で保護されたもの、または過去に出版されたものを、翻案、編集、その他の方法で原稿に使用する場合、著者は論文が査読される前に著作権所有者の許可を得なければならない。また、著作権保有者の要求に従い、出典を引用し、許諾を得た旨を明記しなければならない。著者は原稿提出時に著作権保有者からの許諾書を提出しなければならない。

IRBの不承認

論文に含まれる医学教育研究や臨床研究のうち、ヒトを対象とするもの、またはヒト由来の試料について報告するものは、ヘルシンキ宣言の規定を遵守しなければならない。その研究が関連する施設または国の審査委員会（IRB）の承認を得ていることを明記しなければならない。IRBの承認が不要な場合、その旨を原稿に明記しなければならない。

不適切な著者資格

原稿に記載されたすべての著者は、医学雑誌編集者国際委員会（ICMJE）が定める医学雑誌における学術研究の実施、報告、編集、および出版への勧告に記載された以下の貢献基準を満たさなければならない。

1. 研究の構想もしくは設計、または研究のためのデータの取得および分析に貢献している。
2. 著作物の草稿を作成し、または重要な知的内容について批判的に検討している。
3. 掲載論文の最終版を承認している。
4. 著作物の正確性または完全性に関する疑問が適切に調査、解決されるよう、著作物のあらゆる側面について責任を負うことに同意している。

明確な貢献をした著者の除外や、明確な貢献をしていない個人を著者として含めることは認められない。本誌への投稿については、投稿前に著者全員から明確

な同意を得ること。

現地法令の不遵守

ヒトを対象とする場合、あるいは治験薬、遺伝子組換え製品、新しい装置、あるいはその使用に危険のある化学物質を含む場合、著者は現地の法令を遵守しなければならない。

分割出版（サラミ出版）

一つの研究をいくつかに分割して、他の雑誌や同じ雑誌への投稿量を増やすことは認められない。

2. 不正行為の申し立てへの対応

本誌は、COPEのガイドラインとフローチャートに従い、出版前および出版後の出版不正疑惑に対応している。COPEのガイドラインに記載されていない事項については、COPEのフローチャートを参照すること。

投稿原稿の不正行為疑惑への対応手順

編集委員、査読者、著者および／または雑誌スタッフは、査読中に倫理的な不正行為が疑われた場合には、編集委員長に注意を喚起し、原稿を保留としなければならない。編集委員長はその事例を検討し、暫定的な評価を行う。編集委員長が著者からの説明が必要であると判断した場合、編集委員長は該当著者に通知を送り、疑惑を指摘して説明を求める。

代表著者が、提起された懸念に対して回答および／または十分な根拠を示さない場合、あるいは倫理違反を立証する証拠が編集委員長に提示された場合、その重大性にかかわらず、編集委員長はこの案件を編集委員会に付託し、申し立て、説明、証拠、可能な制裁措置、および正誤表、懸念の表明、撤回記事を掲載するなどの是正措置について協議する。

制裁は以下のようなものになる可能性がある。

- ・著者への正式な警告
- ・原稿の即時不採用
- ・不正行為に関する正式通知の公表
- ・著者の所属機関への正式通知
- ・本誌への今後の投稿の差し止め

編集委員会の決定は著者に通知される。著者は編集委員会宛に異議提起文を送付することで、決定に異議を申し立てることができる。

苦情と異議申し立て

編集委員の判断に基づいて決定された査読結果は、一旦決定された場合、取り消すことはできない。本誌では、編集部の不正行為、過失、または査読手順における異常が発見されない限り、論文の査読をやり直すことはないが、査読手順、原稿の取り扱い手順、雑誌出版のための管理を改善するための機会とみなす。また、寄せられた苦情はすべて、建設的かつ迅速に対処される。以下にまとめられていない手続きについては、苦情および不服申し立て対応に関するCOPEのコアプラクティスを参照すること。

苦情の申し立て

本誌の方針、手続き、雑誌スタッフの対応に関する苦情は、igakyou@shinoharashinsha.co.jp まで連絡すること。

捏造、改ざん、剽窃、著作権や知的財産の侵害、研究倫理違反、著者権や貢献権に関する紛争、利益相反、その他出版前後を問わず問題のある行為に関するすべての不正行為の申し立てについては、igakyou@shinoharashinsha.co.jp まで連絡すること。連絡する際には、事実に基づく情報と関連する証拠を含めること。

苦情処理の手順

苦情の書簡を受領後、3営業日以内に受領確認の返信を送付し、直ちに適切な措置を講じる。

受理された苦情は編集委員長に報告され、編集委員長はその問題に関連する編集委員やその他の関係者に照会する。出版倫理違反の場合、申し立て内容を調査し、COPEのガイドラインとフローチャートに従って必要な判断を下す。調査結果は、4週間以内を目安に決定されるが、それが不可能な場合は、問題が解決するまで、申立人に調査進捗状況の詳細が送付される。

掲載後の議論

掲載された記事に対して読者が不満を感じた場合、編集者への手紙を投稿することで掲載後の議論を開始することができる。編集委員は手紙の内容を検討し、その分野の他の専門家に内容の検討を依頼することもある。内容が適切であれば、編集委員は対象記事の著者にコメントを求め、元の手紙と著者の回答の両方を掲載する。

編集決定に対する異議申し立て

本誌の編集委員は、公正かつ公平な査読と判定を行うために最善の努力を払う。著者が本誌の編集委員による判断が不適切と感じた場合には、編集決定に対して一度だけ異議申し立てをすることができる。異議申し立てをする際には、詳細な情報と明確な理由を記載し、igakyou@shinoharashinsha.co.jp に連絡すること。

寄せられた苦情はすべて編集委員長に送られ、編集委員長はその原稿を担当した編集委員、または編集委員会に照会し、不服申し立てを検討し、編集決定に変更を加えるべきかどうか決定する。この場合、原稿の再査読が必要となることもある。異議申し立て後に下された新たな決定が最終決定とみなされる。

3. 正誤表、懸念表明、撤回記事

撤回記事、正誤表、懸念表明がベストプラクティスに従って処理されるように、本誌はCOPEが提供する以下の撤回ガイドラインに従っている。

正誤表

正誤表は、受理された論文の作成過程で生じた綴

り、データ、用語、誤植、脱字など、読者に誤解を与えかねない重要な誤りを通知するために発行される。また、正誤表は、著者および投稿者情報の訂正のためにも発行される。

懸念表明

懸念表明は、掲載論文に関する問題調査によって疑義が生じた際、決定的な証拠が得られず、なおかつその論文に無効な結果が含まれていると編集委員長が判断した場合、または誤解を招く恐れがある情報を読者に知らせるべきであるという懸念がある場合に発行される。また、調査に時間を要する場合にも、懸念表明が発行されることがある。

撤回記事

本誌は以下の撤回手順を採用している。

1. 調査が必要な事例は、編集委員長に報告される。
2. 編集委員長はCOPEのフローチャートに示されたガイドラインに従って調査を行う。編集委員長は著者に連絡を取り、説明を求めることができる。また、その説明が審査される。
3. 撤回するかどうかの最終決定は、著者に通知され、必要であれば著者の所属機関など他の関連機関にも通知される。
4. 撤回記事はオンラインに掲載され、雑誌の直近号に掲載される。

本誌は、掲載論文に含まれる、研究の結論を無効にする重大な誤りのあるデータ、あるいは倫理的な不正行為を読者に警告するために、論文の撤回を発表することがある。撤回が発表されるのは、倫理違反または不備として、編集委員長が以下について明確な証拠を得た場合である。

1. 調査結果やデータが信頼できない、あるいは誤解を招くものである。
2. 剽窃
3. 無断での重複出版
4. 非倫理的な研究

撤回記事には以下の内容が含まれる。

1. 撤回された論文のタイトル、著者名などの情報
2. 撤回された論文へのリンク
3. 撤回理由

記録の完全性を保つため、撤回された論文は削除されず、雑誌の掲載プラットフォーム上で維持される。また、論文PDFは"Retracted"と透かしの入ったバージョンに置き換えられるが、論文へのアクセスは可能のままになる。なお、撤回通知は、直近号に掲載される。

査読者向けガイドライン (2025年1月17日施行)

「医学教育」(以下、「本誌」という)の査読は、査読者の専門性にかかっている。すべての査読者は研究分野の専門家であり、本誌に投稿された論文の質と重要性を判断する上で最適な立場にある。なお、本誌では、査読全体を通してシングルブラインドを採用しているため、査読者の氏名は著者には伏せられる。

1. 査読手順

1) 投稿を受け付けた論文等について、編集委員長が担当編集委員1名を指名する。

2) 論文等の初回投稿時に、編集委員長あるいは担当編集委員が論文の概要と内容を検討し、投稿規程にあわないもの、内容が本誌の目的と異なるものについては一旦返却または不採用にする。このときにコメントの提示および投稿区分の変更を提案することがある。

3) 担当編集委員は、2名の外部査読者を選び査読を依頼する。

4) 査読者は4週間以内に査読を行う。6週間を超えた場合、担当編集委員は、該当の査読者の判定を待たずに調整あるいは編集委員会での検討、もしくはもう1名の査読者を指名することができる。6週までに査読結果を通知しなかった査読者の査読結果は考慮しない。

5) 担当編集委員は、査読者の判定を参考に内容の調整・修正を著者に依頼する。2名の査読者の判定が大きく異なる場合等、必要に応じて3人目の査読者を依頼する。

6) 2名の査読者がともに不採用と判定した場合は、査読を中止し編集委員会に報告する。

7) 編集委員会は、著者に内容の再調整・修正を依頼することができる。この場合、再調整・修正は1回のみで次の編集委員会での採否を改めて検討する。なお、これには、編集部が著者に依頼する校正・追加などは含まれない。

8) 論文等の採否は編集委員会で審議し、決定する。

9) 著者に論文を修正する機会が与えられた場合、著者は査読コメントに従って論文を修正し、再投稿する。その後、上記と同様のプロセスを経るが、編集委員長は査読者による再査読を行わずに論文を受審することを選択できる。なお、再査読は2回までとし、それ以上の査読は行わない。

10) 編集委員長は5カ月以内に採否を決定するように努力する。なお、2回不採用となった論文等の投稿は受け付けない。

本誌は、査読が公正、公平かつ適時に行われることを期待する。掲載の可否は、該当の原稿の分野に対する重要性、表現の独創性と明確性、研究の妥当性、本誌の目的と範囲との関連性に基づいて決定され、編集委員長は原稿に対するすべての決定に責任を負う。

本誌は、医学雑誌編集者国際委員会 (ICMJE) による医学雑誌における学術研究の実施、報告、編集、および出版への勧告、および出版倫理委員会 (COPE)、Directory of Open Access Journals (DOAJ)、世界医学雑誌編集者協会 (WAME)、オープンアクセス学術出版協会 (OASPA) による共同声明である学術出版における透明性とベストプラクティスの原則、<https://doaj.org/apply/transparency/> を支持する。

以下は、査読手順に関する一般的なガイドラインである。雑誌の規定とともに、必要な倫理・方針声明も十分に確認すること。不明な点があった際には、編集部 (igakyou@shinoharashinsha.co.jp) まで問い合わせること。

2. 査読者の倫理的責任

1) 適時性

新規原稿の査読コメントは、査読を承諾した日から4週間以内に提出すること。なお、期限に間に合わない場合、直ちに編集部まで連絡すること。査読期限を延長するか、代替りの査読者を指名するか、担当編集委員が決定する。修正原稿の査読コメントも同様に、査読が依頼された日から4週間以内に提出すること。

2) 査読者の利益相反

原稿の査読者として利益相反の可能性がある場合、査読を開始する前に編集委員に通達しなければならない。また、原稿で発表された研究の一部に関与しており、公正で公平な査読を行うことを妨げる可能性がある場合は、査読を辞退し、別の査読者に査読を依頼できるように編集委員に知らせること。なお、ここで述べる関与には、金銭的利益、著者との共同研究、原稿に関連する著者、企業、機関などとの業務上または個人的な関係や繋がりなどを含む。

3) 守秘義務

査読をする際には、守秘義務が課される。

- ・査読の前後を問わず、いかなる方法であれ、誰に対しても、論文の内容について議論したり言及したりしないこと。
- ・査読のために提出された原稿は機密文書となるため、内密に扱われなければならない。同僚や関係者からの追加のアドバイスが有用と思われる場合には、事前に編集部に連絡し、原稿を共有することについて編集部の許可を得ること。編集委員の同意を得ずに、同僚やその他の第三者に原稿を共有してはならない。
- ・論文が出版される前に、論文に記載された研究を参考文献として使用してはならない。また、出版前に、該当の研究を引用または参照することは控えること。

- ・ 査読した原稿の複写を保持せず、その内容や査読を通じて入手できる資料を科学的、金銭的、個人的、またはその他の目的で利用したりしないこと。
- ・ 原稿をソフトウェアや AI 支援ツールにアップロードしないこと。

4) 建設的なコメント

査読時には客観的かつ建設的なフィードバックを行い、論文や執筆内容の改善を著者に促すこと。改善が必要な点がある場合、具体的な改善策を提案すること。また、敵意や扇動的な態度、軽蔑的なコメントは控えること。

5) 公平性

査読コメントは、個人的または専門的なバイアスを排除し、公平な事実の考察に基づくものとする。著者の人種、民族的出身、性別、宗教、市民権に関係なく、論文の科学的利点、独創性、文章の質、および本誌の範囲と使命との関連性にもみ基づいたコメントをすること。論文の査読中にバイアスの可能性があるかと判断された場合は、直ちに編集委員に知らせること。

6) 能力

正当な評価を提供することが可能な専門知識がある場合にのみ、査読を引き受けること。原稿のある側面が専門外である場合、または専門知識に限界がある場合は、編集部に知らせること。その後、専門分野の範囲で査読を依頼するか、または別の査読者に依頼するか判断が下される。

7) 過去に査読した論文

過去に他誌で査読した原稿の査読を依頼された場合、新しい原稿として査読すること。その場合、著者が前回の査読コメントに従って修正を加えている可能性や、本誌の評価基準が他誌の評価基準と異なる可能性がある。

8) 倫理規程

倫理違反の証拠があった際には、直ちに編集委員に通報すること。出版倫理規程はこちらを確認すること。

9) AI 支援ツールの使用

査読者は、機密性が保証されないソフトウェアや AI 支援ツールに原稿をアップロードしてはならない。査読を容易にするために AI 支援ツールを使用した場合、本誌に開示する必要がある。

3. 査読依頼

1) 一般的な手順

査読依頼は、投稿システムから電子メールで送信される。電子メールに記載されているリンクから、査読の諾否を回答すること。原稿のテーマが自身の専門分野かどうか判断できるよう、査読依頼メールには原稿の詳細が記載されている。

査読を承諾できない場合には、電子メールに記載されている辞退のリンクをクリックすること。

査読を承諾するリンクをクリックすると、投稿システムから原稿にアクセスする方法や、投稿システムから査読コメントを提出する手順が電子メールで通知される。

2) 修正原稿

通常、再査読のために、修正原稿は前回原稿の査読者に送られる。以前に査読した原稿の査読を担当する場合、前回の査読で指示した内容に沿って修正されていることを確認すること。また、前回の査読コメントで指摘しなかった問題点を新たに提起しないように留意し、修正原稿での修正や追加指示は、前回コメントに関する内容に限定すること。

4. 査読コメント

1) 一般的なガイドライン

・ 投稿された原稿が本誌の範囲と趣旨に合致しているか、独創性が十分に証明されているか、また論文の妥当性と本誌読者への潜在的な影響力があるか評価する。

・ 文章が簡潔明瞭で、読者が内容を理解しやすい適切な文体、構成になっているかを査読コメントで示すこと。

・ 原稿の科学的正確性を評価し、不足している情報や方法論的欠陥についてコメントすること。

・ 指摘はすべて具体的にを行うこと。編集委員の評価や判断、著者の修正に役立つよう、一般的な記述を裏付けるような証拠を、適切な参考文献とともに提示すること。

・ 著者に対する個人的な批判、軽蔑的な個人的コメント、根拠のない非難は避けなければならない。

・ 原稿の中で言及されている、いかなる著作物に対しても、否定的なコメントや不当な批判は避けること。

・ 自身の論文の被引用数を増やすために、著者に自身の論文を引用するよう提案してはならない。提案は学術的または技術的に正当な理由に基づくこと。

・ 本誌はシングルブラインドを採用しているため、自身の匿名性を維持すること。

2) 考慮すべき点

査読時に考慮すべき点は以下の通り。

- ・ 研究コミュニティにおいて原稿に意義があるか。
- ・ 幅広い読者層にとって、関心や潜在的影響力があるか。
- ・ 修正時に対処すべき原稿の不十分な点がないか。
- ・ タイトル、要旨、キーワードが正確か。
- ・ 内容、図、表は十分か。
- ・ 適切かつ正確な参考文献が記載されているか。
- ・ 言語の質に問題はなく、読みやすいか。
- ・ 目的が明確か。
- ・ 適切な統計分析が行われているか（統計調査が含まれる場合）。

- ・結果欄で提示されたデータが充実したものか.
- ・結論は提示されたデータに裏付けられているか.

3. 編集委員へのコメント

本誌の査読システムでは、「編集委員へのコメント」欄が設置されている。該当の欄に記載されたコメントは著者には送付されず、編集委員だけが閲覧可能となっている。利益相反の可能性、倫理的問題、その他編集委員にのみ伝えるべきコメントがある場合、該当の欄にコメントすること。

4. 著者へのコメント

査読コメントには、論文の全体的な印象を述べる序論を含める必要がある。序論に続いて述べる具体的なコメントは、主要な点とそうでない点の2つに分けても構わない。査読コメントは判定メールの一部として著者に送付される。なお、論文の採否に関する記述はコメント内に含めないようにすること。

5. 出版に関する決定

出版可否や修正有無は、すべての査読者、編集委員の査読結果が提出、評価された後、編集委員が決定する。

The Medical Education Japan Instructions to Authors

1. Aims and Scope

The Medical Education Japan is an official peer-reviewed and fully open-access journal of the Japan Society for Medical Education. The Medical Education Japan aims to publish academic papers that deal not only with medical education for doctors and medical students, but also with the development of medical professionals in general, and to exchange useful information. All articles receive a full and extensive peer review by recognized experts from the subject of research field. The journal is published bi-monthly (February, April, June, August, October and December). In addition, the journal publishes a supplement issue. The Medical Education Japan requires that all manuscripts be prepared in accordance with the "Recommendations for the Conduct, Reporting, Editing, and Publication of Scholarly work in Medical Journals" as published by the International Committee of Medical Journal Editors (ICMJE).

The Medical Education Japan welcomes Japanese papers. Instructions to Authors for Japanese papers is available on the previous page.

2. Article Types

The Medical Education Japan publishes a variety of different article types. Once you have determined the correct Article Type, it is imperative that you read the Manuscript Preparation guidelines before you submit your manuscript. The Editorial Board decides the article type of an accepted article eventually:

1) Original Research Papers

Original research papers are a category of research papers based on original research questions derived from the findings of previous research. Research methodologies include quantitative research, qualitative research, document research, experimental research, observational research, action research, etc. As a general rule, the main text should include the importance of the theme based on overseas and domestic research, what is known and unknown from previous research, a solid research purpose, ontology/epistemology, theoretical framework, contributions to educational theory, and presentation of new knowledge, etc. Ethical review is required when human subjects are involved in papers.

2) Review Articles

Review Articles are classifications of papers that systematically summarize multiple papers and sup-

porting documents, and present new concepts and perspectives while outlining the theme.

3) Short Reports

Short reports are classifications of articles that is useful for readers based on limited knowledge and a small amount of evidence. For example, research that analyzes a small number of survey data related to education, educational case reports that conduct a small number of quantitative or qualitative evaluations and verifications of educational practices, and educational research that have been undertaken independently by students, trainees, etc. Ethical review is required when human subjects are involved in papers.

4) Practice Research Articles

Practice research articles are practice reports whose purpose is to share unique educational practices that cannot be found anywhere else. In addition to details of educational practices, the background of the design and review of practices based on educational theories, models, and educational strategies from other fields should be described. Do not include data that requires ethical review, such as questionnaires or interviews.

5) Perspectives

Perspectives consider phenomena related to medical education from a pedagogical perspective, based on knowledge from various fields, and constructively presents new perspectives. Do not include new research nor survey data.

6) Suggestions from Students

Suggestions from Students are students' innovative and constructive opinions and suggestions regarding phenomena related to medical education. Submitting authors for suggestions from students must be students. Graduate students are not permitted.

7) Letters to the Editor

Letters to the Editor are opinions on papers published in the Medical Education Japan.

8) Bulletin Boards

Authors must determine a correct category when submitting Bulletin Boards.

- Book Review

Book Reviews of recently published books related to medical education are welcomed. Book Reviews are mainly submitted by invitations.

· Reviews of Important Literature in Medical Education

Authors must submit reviews of papers and books that are considered useful for medical education.

9) *Eulogies (Essays in Remembrance)*

Eulogies (Essays in Remembrance) should be an essay in memory of a member of the Japanese Society for Medical Education who has passed away.

3. Manuscript Preparation

Information provided here on manuscript preparation and formatting is based, in part, on the "[Recommendations for the Conduct, Reporting, Editing, and Publication of Scholarly Work in Medical Journals](#)" as published by the ICMJE. For any information that is not mentioned in this guideline, authors should refer to the [ICMJE Recommendations](#).

Authors wishing to include figures, tables, or text passages that have already been published elsewhere are required to obtain permission from the copyright owner(s) for publication. Authors must submit permissions letters from the copyright owner(s) when submitting the manuscript. A full credit line should be added to the copyrighted material in the manuscript.

If authors are non-native speakers of English, the manuscript must be edited by a native English speaker prior to submission, preferably one with a specialized knowledge of medical editing.

Manuscripts that do not follow the instructions below WILL BE RETURNED to the corresponding author for technical revision before undergoing peer review.

This Journal is the official journal of the Japanese Society for Medical Education. We welcome submissions from all researchers world-wide.

3.1 *General Formatting*

All articles should be written in English using size 12, "Times New Roman" font type and correctly formatted according to the guidelines outlined below. All text should be double-spaced. Continuous line numbers and page numbers are required to make it easier for reviewers to provide comments.

The organization of the manuscript should be in the following order:

- Title Page
- Abstract
- Key Words
- Main Text
- References
- Figure Legends
- Figures

· Tables and footnotes

3.1.1 *Title Page*

The title page should be prepared separately from the main document and must include the following information:

- Article type
- Title of the manuscript (no more than 30 words)
- Running title (no more than 8 words)
- Full names of all authors
- Institutional affiliations of all authors, indicated by numbers (not symbols), including city and country
- Corresponding author's name, address, telephone number and e-mail address
- Word count (for the main text only)
- Number of figures and tables
- Conflicts of interest
- Sources of financial support that require acknowledgment
- Type of contribution of the authors. Please visit the ICMJE website for more information on authorship.
- Approval code issued by the institutional review board (IRB) and the name of the institution(s) that granted the approval.
- A statement that appropriate informed consent was obtained. If the consent from the participants was waived for your study, the reason(s) must be stated explicitly.
- Acknowledgements

3.1.2 *Main Document*

Abstract and Key Words

Manuscript should include an abstract of no more than 250 words that includes the following headings, depending on the article type:

- Original Articles: Structured Abstract (Background, Methods, Results, Conclusions)
- Review Articles:
 - Narrative Reviews: Unstructured or structured Abstract (Background, Methods, Results, Conclusions)
 - Scoping Reviews: Structured Abstract (Background, Methods, Results, Conclusions)
 - Systematic Reviews: Structured Abstract (Background, Methods, Results, Conclusions)
- Short Reports: Unstructured Abstract
- Practice Research Articles: Unstructured Abstract
- Perspectives: Abstract is not necessary
- Suggestions from Students: Abstract is not necessary
- Letters to the Editor: Abstract is not necessary.

- Bulletin Boards: Abstract is not necessary
- Eulogies (Essays in Remembrance): Abstract is not necessary

The abstract must be precise, clear and fully comprehensible on its own. The Abstract, regardless of the Article Type, should contain 1 to 5 key words.

Main Text

The main text should be prepared in MS Word (.doc or .docx). For each Article Type, authors must organize and order their content using the following formats:

Original Research Papers

Headings: Introduction, Methods, Results, Discussion

Word Limit: 1,500 to 4,000 words

Number of Tables and Figures: No more than 5

Number of References: No more than 30

Review Articles

Word Limit: 1,500 to 4,000 words

Number of Tables and Figures: No more than 5

Number of References: 30 to 50

Short Reports

Word Limit: 1,500 words

Number of Tables and Figures: No more than 2

Number of References: No more than 10

Practice Research Articles

Headings: Problem Posing, Practical Content, Reflection

Word Limit: 1,500 to 3,000 words

Number of Tables and Figures: No more than 3

Number of References: No more than 15

Perspectives

Word Limit: 800 words

Number of Tables and Figures: No more than 1

Number of References: No more than 5

Suggestions from Students

Word Limit: 800 words

Number of Tables and Figures: No more than 1

Number of References: No more than 5

Letters to the Editor

Headings: Headings are not necessary

Word Limit: 800 words

Number of Tables and Figures: Do not upload tables and figures

Number of References: No more than 5

Bulletin Boards

Word Limit: 800 words

Number of Tables and Figures: No more than 1

Number of References: No more than 5

Eulogies (Essays in Remembrance)

Word Limit: 500 words

Number of Tables and Figures: Do not upload tables and figures

3.2 References

The authors are responsible for the accuracy of their references. Including AI-generated material as the primary source in the reference is not allowed. The References section should follow immediately after the conclusion of the main text under the heading "References". Authors must cite references in the text in the order of their appearance, showing the citations as superscripts (for example, show in superscript¹). Three or more consecutive citations should be indicated as a range using a hyphen, e.g. "3-5". If there are more than three authors, name only the first three authors and then use "et al."

Examples:

Journal article

1. Guiot BH, Khoo LT, Fessler RG. A minimally invasive technique for decompression of the lumbar spine. *Spine*. 2002;27(4):432-8.

Journal article in a language other than English

2. Paroussis D, Papaoutsopoulou C. [Porcelain laminate veneers (HI-ERAM)]. *Odontostomatol Proodos*. 1990;44(6):423-6. Greek.

Homepage

3. Complementary/Integrative Medicine [Internet]. Houston: University of Texas, M. D. Anderson Cancer Center; c2007 [cited 2007 Feb 21]. Available from: <http://www.mdanderson.org/departments/CIMER/>.

Entire book

4. Jenkins PF. Making sense of the chest x-ray: a hands-on guide. New York: Oxford University Press; 2005. 194 p.

Book chapter

5. Riffenburgh RH. Statistics in medicine. 2nd ed. Amsterdam (Netherlands): Elsevier Academic Press; 2006. Chapter 24, Regression and correlation methods; p. 447-86.

Journal names should be abbreviated in the standard form as they appear in the [NLM Catalog](#). If the journals are not included in the NLM Catalog, use

the [ISSN List of Title Word](#) for standard abbreviations of journal names. If you are uncertain, please use the full journal name.

For reference styles pertaining to other media formats or further details, please refer to **Citing Medicine**, which is published by the [National Library of Medicine \(US\)](#).

3.3 Units of Measurement

Measurements of length, height, weight, and volume should be reported in metric units (meter, kilogram, or liter) or their decimal multiples. Temperatures should be in degrees Celsius. Blood pressures should be in millimeters of mercury. All measurements should follow the International System of Units (SI). Except for °C and %, one space must be inserted between each number and unit.

Use a capital letter “L” for liter in the units of measurements in the Text, Figures, and Tables (e.g., g/dL, mg/dL, IU/L, and mEq/L).

3.4 Abbreviations

Do not include the abbreviations in the title except for commonly used abbreviations. Define abbreviations at their first appearance in the text and in each Table and Figure and use the abbreviations consistently thereafter.

3.5 Names of Drugs, Devices, and Other Products

Do not use the specific brand names of drugs, devices, and other products and services, unless it is essential to the discussion. Otherwise, please use descriptive name.

3.6 Figures and Tables

Figures and Tables should be numbered with Arabic numerals (e.g. Figure 1, Figure 2, Table 1, Table 2), and must be cited in the text in bold in the order they are cited

If any copyrighted or previously published material, edited or otherwise, are used in the manuscript, it is the author’s responsibility to obtain the permission from the copyright owner(s) prior to making a submission. Also, the authors must cite the source and indicate the permission to use such materials in the corresponding Figure or Table caption, as required by the copyright owner(s). Authors must submit permissions letters from the copyright owner(s) when submitting the manuscript.

3.6.1 Figures

All illustrations (line drawings and photographs) are classified as figures. Figures should be submitted in the following digital format: JPEG (.jpg), or

Tagged Image Format (.tiff).

3.6.2 Figure Legends

Legends must be prepared for all Figures presented in the manuscript and should be understandable without reference to the text. Authors must list Figure Legends on a separate page after the References section.

3.6.3 Tables and Footnotes

Tables are required to be in MS Word (.doc/.docx) or PowerPoint (.ppt/.pptx). The Table captions should be understandable without reference to the text. Column headings should be kept as brief as possible and indicate units. Footnotes should be labeled a), b), c), etc. and typed on the same page as the table they refer to. Tables must be configured in a horizontal layout only.

4. Reporting Guidelines

Various reporting guidelines have been developed for different study designs in clinical researches. Authors are encouraged to follow published standard reporting guidelines for the study discipline.

- STROBE for observational studies (<http://stroke-statement.org/>)
- PRISMA for systematic reviews and meta-analyses (<http://prisma-statement.org/>)
- STARD for studies of diagnostic accuracy (<http://www.equator-network.org/reporting-guidelines/stard/>)
- SAGER for reporting of sex and gender information (<https://www.equator-network.org/reporting-guidelines/sager-guidelines/>)

Please access <https://www.equator-network.org> to find the guideline that is appropriate for your study.

It is extremely important that when you complete any Reporting Guideline checklist that you consider amending your manuscript to ensure your article addresses all relevant reporting criteria issues delineated in the appropriate reporting checklist. The purpose of a reporting guideline is to guide you in improving the reporting standard of your manuscript. The objective is not to solely complete the reporting checklist, but to use the checklist itself in the writing of your manuscript. Taking the time to ensure your manuscript meets these basic reporting needs will greatly improve your manuscript, while also potentially enhancing its chances for eventual publication.

5. Online Manuscript Submission

Manuscripts may only be submitted electronically

via the journal's Editorial Manager system: <http://www.editorialmanager.com/mededjapan/>

Simply log on to Editorial Manager and follow the onscreen instructions for all submissions. You will need to register before your first submission to the Medical Education Japan. If you have any technical problems or questions related to the electronic submission process or uploading your files, please contact the Editorial Office:

E-mail: igakyou@shinoharashinsha.co.jp

All files must be submitted in the following order: 1) Title Page, 2) Main Document, 3) Tables, and Figures (≥ 300 dpi). Upon submission, the manuscript will be automatically checked for plagiarism, and can be sent back to the corresponding author if the plagiarism rate is 30% or higher.

Notification of manuscript submission will be sent by e-mail to all authors listed in the manuscript.

6. Peer Review Process

Articles submitted to the Medical Education Japan are subject to a single-anonymized peer review process. This means the identities of the peer reviewers remain anonymous but the authors' identities are known to the reviewers. Peer review is a critically important process of evaluation for any manuscript submitted to the Medical Education Japan. Every article dispatched for full peer review will receive a comprehensive, fair, and unbiased critical assessment.

All submitted manuscripts will be reviewed, initially, by the editors of the Medical Education Japan to evaluate eligibility for publication. The editors will assess the importance and originality of the research, suitability and interest to the readership of the journal, and the quality of the manuscript. Any manuscripts that satisfy our screening criteria will generally be sent to two experts in the field of the study for peer review. The editors of the Medical Education Japan will review the peer review comments and make all decisions on the manuscript publication, which include acceptance, major or minor revisions, and rejection. The Editorial Board makes final decision, which include acceptance or rejection.

The Medical Education Japan adheres to Committee on Publication Ethics' Ethical Guidelines for Peer Reviewers. Reviewers are not allowed to contact the authors directly before, during, or after the peer review process to discuss any information that is presented in the manuscript. Reviewers must keep the manuscripts and information obtained strictly confi-

dential and must not publicly discuss or disclose the contents and any other information contained within the manuscript to a third party. The guidelines for the reviewers are available here.

The decision letters along with the comments by the editors and reviewers will be sent to the corresponding author via e-mail.

6.1 Revised Manuscript

It is expected that any manuscripts receiving a revision decision will be fully amended according to the comments of both the reviewers and the editors. Authors must also include a detailed point-by-point response letter. Authors should submit the revised manuscript within 6 weeks from the date of prior decision. Revisions must be approved by all authors prior to submission of the revised manuscript.

6.2 Editors and Journal Staff as Authors

Manuscripts submitted by editors, Editorial Board members, or journal staff will follow the same process as outlined above. However, they are excluded from any editorial decision process of their own manuscript and have neither access to that manuscript nor any information about the review process other than what is provided in the editor's decision letter. Additionally, Editorial Manager, the journal's online submission and peer review system is designed to anonymize a person in other roles (editor/reviewer) from any paper he/she has authored.

The manuscript submitted by editors, Editorial Board, and journal staff of the Medical Education Japan should include a statement that declares their personal conflict of interest with the journal.

7. Editorial Policy and Publication Ethics

7.1 Overview

The Medical Education Japan observes the highest standards in journal publication. The journal supports and adheres to the guidelines and best practices including [Recommendations for the Conduct, Reporting, Editing, and Publication of Scholarly Work in Medical Journals](#) by the [International Committee of Medical Journals Editors](#) (ICMJE) and the [Principles of Transparency and Best Practice in Scholarly Publishing](#) (a joint statement by the [Committee on Publication Ethics](#) (COPE), the [Directory of Open Access Journals](#) (DOAJ), the [World Association for Medical Editors](#) (WAME) and the [Open Access Scholarly Publishers Association](#) (OASPA); (<https://doaj.org/apply/transparency/>)).

7.2 Authorship/Contributorship

All authors listed in the manuscript must meet the

following four contribution criteria as defined by the ICMJE in their Recommendations for the Conduct, Reporting, Editing, and Publication of Scholarly Work in Medical Journals.

- 1) Substantial contributions to the conception or design of the research or the acquisition and analysis of data; and
- 2) Drafting the work or reviewing it critically for important intellectual content; and
- 3) Final approval of the version to be published; and
- 4) Agreement to be accountable for all aspects of the work in ensuring that questions related to the accuracy or integrity of any part of the work are appropriately investigated and resolved.

Contributors who do not meet all four criteria above should not be listed as authors. Guest or honorary authorship is strictly prohibited.

The corresponding author must ensure that a manuscript is read and approved by ALL authors prior to submission.

Those who do not qualify for authorship may be acknowledged individually or together as a group under a single heading within the “Acknowledgements” in the title page. Examples of activities that do not qualify a contributor for authorship are: acquisition of funding; general supervision of a research group; general administrative support and writing assistance; technical editing; language editing, and proof-reading.

Authors should discuss, determine and (if they exist) settle any disagreements about the order of authorship before submitting their manuscript. Final author order must be established by the end of the revision phase of the peer review process. Any authorship changes such as order, addition, and deletion of authors between the initial manuscript submission and the final decision should be discussed and approved by all authors.

Adding, deleting, or changing the author names and their order is not permitted after the acceptance of the manuscript for publication.

7.3 Use of Artificial Intelligence (AI)-Assisted Tools/Technologies

In consonance with the COPE's position statement, WAME's recommendations, and ICMJE's Recommendation, the Medical Education Japan does not allow artificial intelligence (AI)-assisted tools/technologies such as Large Language Models (LLMs), chatbots, or image creators to be listed as author or co-author. As described in the ICMJE, those tools

cannot be responsible for the accuracy, integrity, and originality of the work, thus they do not meet the ICMJE's criteria for authorship listed above.

The authors (humans) are fully responsible for any materials of the submitted work, including the use of AI-assisted tools or technologies. Authors should carefully review and edit the result because AI can generate authoritative-sounding output that can be incorrect, incomplete, or biased. Authors should not list AI and AI-assisted technologies as an author or co-author, nor cite AI as an author. Authors (humans) are also responsible for plagiarism including in text and AI-produced images.

Authors must disclose, upon submission and in the Methods (or similar section), any use of AI-assisted tools or technologies in the writing of a manuscript, production of images or graphical elements of the paper, or in the collection and analysis of data.

7.4 Exclusive Submission

Articles that have been previously published or are being considered for publication in another journal in any language will not be accepted. Submission of a manuscript implies that: the work described has not been previously published; it is not under consideration for publication elsewhere; its publication has been approved by all co-authors. The editors make all decisions on the acceptance of the peer-reviewed manuscripts.

7.5 Confidentiality

All manuscript details, author information, reviewer identities, comments to the editors and the authors, and the content of the decision letter are considered privileged information and will never be disclosed to third parties.

7.6 Redundant or Duplicate Publication

Articles that are being considered for publication in another journal including advanced publications such as “in-press” or “E-pub ahead of print” articles in any language might be regarded as redundant or duplicate publication.

The author should notify the editor formally about all submission and the previous reports that could be regarded as redundant or duplicate publication of the same or similar work. Any such material must be referred to and referenced in the new work. Copies of such work should be included with the submission. Abstracts or posters presented at scientific meetings are not considered previously published work. For studies that have been presented at a scientific meeting, “Acknowledgements” should include a sentence,

such as “A part of this study has been presented at the XXth Annual Meeting of XXXXX (Month Year, City)”.

Editorial actions should be expected if redundant or duplicate publication is attempted or occurs without such notification. Editorial actions may include: immediate rejection of the submitted manuscript; retraction of published work; published notice of violation, and revocation of publishing privileges.

For acceptable secondary publication the Medical Education Japan accepts secondary publications of only those that meet the criteria and conditions described in the [ICMJE Recommendations](#).

7.7 Conflicts of Interest and Sources of Funding

According to [ICMJE Recommendations](#), a conflict of interest (COI) exists “when professional judgment concerning a primary interest (such as patients’ welfare or the validity of research) may be influenced by a secondary interest (such as financial gain).”

All authors are required to disclose any financial relations, activities, relationships and affiliations that exist, or have existed with any commercial organizations, groups, institutions, or any other entities that has any interest in the subject matter, materials, or process (es) discussed in the manuscript.

Any possible COI related to the study presented in the manuscript must be disclosed on the title page under the heading “Conflicts of Interest”.

If the manuscript is accepted for publication, the disclosures will be published as they appear in this section. If there are no COIs, the authors should state “The authors declare that there are no conflicts of interest” on the title page.

All sources of funding from entities such as government or non-profit organizations, which are relevant to the study, should be acknowledged on the title page under the heading “Sources of Funding.”

- You must use the following word format to describe any funding: “This work was supported by [*name of funder*] grant number [*xxx*]”.
- If your work did not receive funding you must use the following wording: “This research received no specific grant from any funding agency in the public, commercial or not-for-profit sectors”.
- You must ensure that the full, correct, details

of your funder(s) and any relevant grant numbers are included.

7.8 Research Ethics

- A) Clinical research and medical education research included in articles that report on human subjects or materials of human origin, must comply with the provisions of the Declaration of Helsinki. In addition, the “Methods” section must include a statement that the research was approved by the IRB of the authors’ affiliated institutions and the approval code issued by the IRB and the name of the institution, which granted the approval. Those researchers who do not have access to an ethics review committees should follow the principles outlined in the [Declaration of Helsinki](#).
- B) For any studies involving human subjects it should be stated clearly in the text that written consent has been obtained from all patients (or parent or legal guardian) or research participants to publish the information, including their photographs.
- C) Any data or information such as patient or research participant names, initials, hospital patient identification codes (patient IDs), specific dates, or any other information which may identify patients or research participants must not be presented anywhere in the manuscript, including the Figures and Tables unless the information is essential for scientific purposes and the patient (or parent or legal guardian) or the research participant.

7.9 Misconduct and Breach of Publication Ethics

- All members of the Editorial Board of the Medical Education Japan promote and abide by the [COPE International Standards for responsible research publication for authors, reviewers and editors](#) when dealing with allegations of misconduct. Please see our Ethical Policies for the information.
- All manuscripts submitted to the Medical Education Japan must represent the authors’ original work and not duplicate any other previously published work in any language. The authors must understand, and guarantee, that the same manuscript is not simultaneously submitted to, or not under consideration in, another journal.
- All authors are fully responsible for the originality and contents of their submitted manuscripts. All

records and data presented in the manuscript must be accurate, without any fabrication, manipulation, or falsification.

- Authors certify that the single research or dataset is not intentionally divided into several parts to increase the number of submission or publication with the Medical Education Japan or other journals over time (“salami publication”).
- All information and contents, such as data, text, ideas, or theories that originate from other resources must be credited and cited, as guided in the “References” of Manuscript Preparation section.
- Any misconduct that is identified is subject to investigation by the Editorial Board according to the guidelines recommended by [COPE](#). If the allegation raises any valid concerns after the investigation, the author will be contacted to address the issue. The Editor-in-Chief may decide to publish an “Expression of Concern” if suspicion is raised after the article has already been published. Should misconduct or the breach of publication ethics be established, regardless of the level or seriousness, this may result in retraction, publication of formal notice of the misconduct, formal notice to the author’s institution, and a formal embargo on future contribution to the Medical Education Japan.

8. Proofing and Revision after Acceptance

After the acceptance of a manuscript for publication, a certificate of publication will be issued. Also, accepted manuscripts for publication will be proofed by the Editorial Office. Portions of the manuscript requiring corrections will be noted with comments indicating that the material must be rewritten. Galley proofs will be available to the authors for corrections of minor errors such as spelling errors and omitted characters or letters. Any other corrections and revisions after the acceptance of a manuscript are not permitted unless requested by the Editorial Board of the Medical Education Japan. Authors are expected to perform the proofing, as instructed by the Editorial Office. Upon completion of the proofing, authors should immediately email the revised proof to the Editorial Office.

After publication, further changes, or corrections, can only be made in the form of an Erratum which will be hyperlinked to the original article.

9. Copyright

Copyright of articles and their contents published

in the Medical Education Japan belong to the Japan Society for Medical Education. For an article to be submitted, all authors must agree to transfer copyright to the Society. The Medical Education Japan is an open access journal distributed under the Creative Commons Attribution-Non Commercial-ShareAlike 4.0 International License (<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/4.0/>). Anyone may download, reuse, copy, reprint, distribute, or modify articles published in the journal for not-for-profit purposes if they cite the original authors and source properly. For for-profit or commercial use, written permission by the Editorial Board of the Medical Education Japan is mandatory. If you remix, transform, or build upon the material, you must distribute your contributions under the same license as the original.

10. Charges

Payment of publication fees (as a contribution to the costs of production) will be charged to the authors. The fees, excluding tax, are as follows: JPY 10,000 per page. The page charge is waived for manuscripts of up to eight pages. References are excluded. The Editorial Office will send an invoice prior to the publication. The manuscript will be published only after the payment has been received.

11. Reprints

Authors can download manuscripts for free at J-STAGE. In addition, authors may apply to the Editorial Office for reprints in increments of 30 copies for a fee.

12. Advertisement Policy

The Medical Education Japan does not accept advertising from pharmaceutical companies, device manufacturers or any other commercial entities to avoid potential conflicts of interest in editorial decision-making and to avoid advertisements by companies with potentially competing interests appearing alongside articles published in the journal.

For inquiries:

The Medical Education Japan Editorial Office
E-mail: igakyou@shinoharashinsha.co.jp

Ethics Policies

Editorial Board of the Medical Education Japan follows the recommended procedures outlined by the Committee on Publication Ethics (COPE) International Standards for responsible research publication for authors and editors when dealing with allegations of misconduct.

All authors are fully responsible for the originality and contents of their submitted manuscripts. All records and data presented in the manuscripts must be accurate, without any research misconduct such as fabrication, falsification, or plagiarism, or any other research or publication misconduct.

Any identified misconduct is subject to investigation by the Editorial Board of the Medical Education Japan. All misconduct and breach of publication ethics, irrespective of the extent thereof, may result in retraction, publication of formal notice of the misconduct, and formal embargo on future contribution to Medical Education Japan.

I . Definitions of Publication Misconduct

Fabrication

Fabrication is inventing data or results of research and recording or reporting them with the intentional purpose of deception.

Falsification

Falsification is defined as an inaccurate presentation of research results with the intention to give a false impression. This includes manipulation of research instrumentation, materials, and processes, changing, adding or omitting data, manipulating images, and omitting research results.

Scientific images for publication must be minimally processed. We understand that some image processing may be necessary. Adjustments, such as in brightness, contrast, or color, are permissible as long as these adjustments are applied to an entire image uniformly and do not selectively enhance, eliminate, or misrepresent any elements in the original image, including the background.

Plagiarism

Plagiarism is defined as the use of another person's ideas, processes, results, words, or theories as if they were the author's own, without giving appropriate credit. This involves any part of the manuscript, including the figures and tables. All information and content that originate from other resources must be credited and cited and included in the "References" section. Upon submission, the manuscript will be au-

tomatically checked for plagiarism by using plagiarism screening services or software to determine both text overlap and manuscript originality.

Redundant or Duplicate Publication

Articles that are being considered for publication in another journal, including advanced publications such as "in-press" or "E-pub ahead of print" articles, in any language, will be regarded as redundant or duplicate publication.

The Medical Education Japan does not accept submissions which have previously appeared on preprint servers such as bioRxiv and medRxiv, or other venues such as blogs.

The author should notify the editor formally about all submissions, postings, and previous reports that could be regarded as redundant or which duplicate publication of the same or similar work when submitting a manuscript. Any such material must be referred to and referenced in the submitted work. Copies of such work should be included with the submission. Abstracts or posters presented at scientific meetings are not considered previously published work.

Editorial actions should be expected if redundant or duplicate publication is attempted or occurs without such notification. Editorial actions may include the following: immediate rejection of the submitted manuscript, retraction of published work, a published notice of violation, and revocation of publishing privileges in the journal.

Author's Undisclosed Conflict of Interest (COI)

All authors are required to disclose any financial relations, activities, relationships, and affiliations that exist, or have existed which are related to the research presented, from the initial conception and planning to the completion of the research.

Citation Manipulation

Citation manipulation, such as inclusion of references from other publications without actually reading the cited work, or self-citing works that are irrelevant, must be avoided.

Copyright Infringement

All information and contents that originate from other resources must be all credited and cited. If any copyrighted or previously published materials, adapted, edited, or otherwise, are used in the manuscript,

the author must obtain permission from the copyright owner(s) prior to submitting the paper for review. Also, the authors must cite the source and indicate that permission has been received, as required by the copyright owner(s). The authors must submit permissions letters from the copyright owner(s) when submitting the manuscript.

Failure to Obtain IRB Approval

Clinical research and medical education research included in articles, which report on human subjects or materials of human origin, must comply with the provisions of the Declaration of Helsinki, and it must be mentioned that the study has been approved by the relevant institutional or national review board (IRB). If no approval from any IRB was required, that must be explicitly stated in the manuscript.

Improper Authorship/Contributorship

All authors listed in the manuscript must meet the following criteria of contribution as described by the ICMJE in the Recommendations for the Conduct, Reporting, Editing, and Publication of Scholarly work in Medical Journals.

1. Substantial contributions to the conception or design of the research or the acquisition and analysis of data for the work; and
2. Drafting the work or reviewing it critically for important intellectual content; and
3. Final approval of the version to be published; and
4. Agreement to be accountable for all aspects of the work in ensuring that questions related to the accuracy or integrity of any part of the work are appropriately investigated and resolved.

Exclusion of authors who made a definite contribution or inclusion of individuals as authors who have not made a definite contribution to the work is not permitted. Consent to submit to the Medical Education Japan must be obtained explicitly from all authors prior to submitting a manuscript.

Noncompliance with Local Laws and Regulations

Authors must comply with local regulations and laws if the work involves human subjects, or if it involves investigational drugs, recombinant products, new devices, or any chemical materials that may be hazardous in their use.

Salami-Slicing

So-called "salami-slicing" or dividing a single study into several parts to increase the quantity of submissions to other journals or the same journal is not permitted.

II . Handling Allegations of Misconduct

The Medical Education Japan follows the COPE's Core Practices guidelines and flowcharts for handling allegations of publishing misconduct pre- and post-publication. For any information that is not mentioned in the COPE guidelines, please refer to COPE's flowcharts.

Procedure for Handling Allegations of Misconduct in Submitted Manuscripts

When editors, reviewers, authors, and/or journal staff suspect any instances of ethical misconduct during peer review, they should bring them to the attention of the Editor-in-Chief (EIC). The manuscript will be placed on hold. The EIC will review the case and make the preliminary assessment. If the EIC finds that an explanation from the authors is necessary, the EIC will send the corresponding author a notification, which points out the allegation and requests an explanation.

If the corresponding author does not respond and/or provide sufficient rationale for the raised concern, or if the EIC is presented with evidence that establishes the ethical breach, regardless of the severity, the EIC will refer the case to the Editorial Board, which, in turn, will discuss the allegations, explanations, evidence, possible sanctions, and corrective actions, such as publishing an erratum, expression of concern, or retraction.

Possible sanctions may include:

- Official warning to the author
- Immediate rejection of the manuscript
- Publication of formal notice of misconduct
- Formal notice to an author's institution
- Formal embargo on future contributions to the Medical Education Japan

The authors will be notified of the Editorial Board's decision. The authors may appeal the decision by sending an appeal letter to the Editorial Board.

Complaints and Appeals

The peer review decisions made based on the editors' judgment will not be rescinded once they are made. The Medical Education Japan will not reconsider the paper for peer review unless misconduct, negligence, or absolutely unusual pattern of review process by our editorial team is found. The Medical Education Japan, however, considers complaints an opportunity to improve our peer review process, manuscript handling procedures, and management for journal publishing. All received complaints are dealt with constructively and in a timely manner. For procedures not summarized below, please refer to the COPE's Core Practices in dealing with complaints and appeals.

Making a Complaint

To submit a complaint about the policies, procedures, or actions of the journal staff of the Medical Education Japan, send an e-mail to igakyou@shinoharashinsha.co.jp.

For all allegations of misconduct related to fabrication, falsification, plagiarism, copyright or intellectual property infringement, breach of research ethics, authorship or contributorship disputes, conflicts of interest, or any other problematic conduct either pre- or post-publication, please submit a letter of complaint by e-mail to igakyou@shinoharashinsha.co.jp. The letter of complaint should include factual information and related evidence.

Process for Dealing with Complaints

Once a letter of complaint is received, an e-mail confirming its receipt will be sent to the complainant within three (3) business days (Japan Standard Time), with the assurance that appropriate action will be taken immediately.

The received complaint will be reported to the EIC, which will refer it to the editors and other officials that are relevant to the issue. In a case of a publication ethics violation, the allegations will be investigated, and the necessary decisions will be made in accordance with the [COPE's guidelines](#) and [flowcharts](#). The result of the investigation will be determined within four (4) weeks, if possible. If this is not possible, the complainant will be sent details concerning progress of the investigation until the issue is resolved.

Post-publication Discussions

If readers have a grievance concerning any articles published, they can begin a post-publication discussion by submitting a letter to the editor. The editor will review the letter and may ask other experts in the field to review the content. If appropriate, the editor will ask the authors of the original article to comment and publish both the original letter followed by the author(s) response.

Appeals for Editorial Decisions

Editors of the Medical Education Japan apply their best efforts to provide fair and unbiased reviews and decisions. However, if an author strongly feels that an inappropriate decision has been made by the editors, Medical Education Japan allows a single appeal of the manuscript's editorial decision. An appeal should include the detailed information and the clear reasons for the appeal, and it should be e-mailed to igakyou@shinoharashinsha.co.jp.

All received complaints will be forwarded to the

EIC, which will then refer it to the editor who handled the manuscript, or the [Editorial Board](#), and they will review the appeal and determine whether any changes to the decision should be made. This may require re-review of the manuscript. The new decision made after the appeal is considered final.

III . Erratum, Express of Concern, and Retraction

In order to ensure that retractions, erratum, and expressions of concern are handled according to industry best practice, the Medical Education Japan follows the [Retraction Guidelines, provided by COPE](#), including:

Erratum

An erratum may be issued to notify readers of important errors such as spelling, data, terms, typography, or omission, which occurred during the production process of an accepted article, which may mislead the readers. An erratum is also issued for the correction of author and contributor information.

Expression of Concern

An expression of concern will be issued if the investigation of an issue concerning a published article raises suspicion but does not provide conclusive evidence, and yet the EIC feels the article contains invalid results or has strong concerns that readers should be made aware of potentially misleading information contained in the article. Also, an expression of concern may be issued if the investigation requires a considerable amount of time to reach a resolution.

Retractions

The Medical Education Japan adopts the following retraction process:

1. Instances requiring an investigation are brought to the attention of the EIC.
2. The EIC investigates the case following the step-by-step guidelines provided in the COPE flowcharts. The EIC may contact the authors to request an explanation, which will be evaluated.
3. The final decision as to whether to retract is then communicated to the author and, if necessary, any other relevant bodies, such as the author's institution.
4. The retraction statement is then posted online and published in the next available issue of the journal.

The Medical Education Japan may issue retractions to alert the readers of seriously erroneous data that invalidate the conclusion of the study presented in the published article or of ethical misconduct. Retractions are published if the EIC has convincing evidence for the following cases, either as a result of

ethical violations or honest error:

1. The findings or data are unreliable or misleading
2. Plagiarism
3. Duplicate publication without permission
4. Unethical research

The retraction will include:

1. Information of the retracted article, such as title and authors
2. Link to the retracted article

3. Reasons for retraction

To preserve the integrity of the published record, the Journal will not remove the retracted article. It will be maintained on the platform. The PDF will be replaced with a version watermarked with the word "Retracted," but the original text will remain accessible. A retraction notice will also be published in the next available issue.

Guidelines for Reviewers

The peer review process of the Medical Education Japan is dependent on the professionalism of its volunteer reviewers. All reviewers are experts in the field of research; therefore, they are in the best position to judge the quality and importance of the work submitted to the Medical Education Japan. The names of the reviewers will remain anonymous to the authors, as the Medical Education Japan operates a single-anonymized review throughout the review process.

I . Peer Review Process

- 1) The Editor-in-Chief assigns an Associate Editor who will be responsible for selecting external reviewers and evaluating the manuscript.
- 2) The Editor-in-Chief or the Associate Editor check if the manuscript's formatting and style is in accordance with the Instructions to Authors and screen the manuscript and decides whether or not to send it for full peer review. If the decision is not to send the manuscript for review, an email to notify the author of rejection will be sent.
- 3) Associate Editors select, in general, two reviewers to evaluate the manuscript.
- 4) Reviewers submit their review comments within four weeks. If the review period of a reviewer exceeds six weeks, the Associate Editor makes an adjustment without waiting for the reviewer's decision, consider the manuscript with the Editorial Board members or select another reviewer.
- 5) The Associate Editor asks the authors to revise the manuscript based on the reviewers' comments. A third reviewer will review when necessary, if the decisions of two reviewers is significantly different.
- 6) The Editorial Board may request the authors to revise the manuscript. In this case, the authors will be asked to revise only once, and the acceptance or rejection of the manuscript will be reviewed at the next meeting of the Editorial Board.
- 7) The acceptance or rejection of manuscripts will

- be discussed and decided by the Editorial Board.
- 8) If the author is given the opportunity to revise the paper, he/she revises the paper according to the review comments and resubmits. The paper then goes through the same process above, but the Editor-in-Chief may choose to accept the paper without further review by the reviewers. Reviews are limited to two times. No further reviewing will be conducted.
 - 9) The Editor-in-Chief makes efforts to make decisions on acceptance or rejection within 5 months. The Medical Education Japan does not accept submissions of manuscripts that have been rejected twice.

The Medical Education Japan expects that peer review be fair, unbiased, and timely. Decisions to accept or reject a manuscript for publication are based on the manuscript's importance to the field, originality and clarity of expression, the study's validity, and its relevance to the Medical Education Japan's aims and scope. The Editor-in-Chief is responsible for all decisions made to the manuscripts.

The Medical Education Japan supports and adheres to the guidelines and best practices including Recommendations for the Conduct, Reporting, Editing, and Publication of Scholarly Work in Medical Journals (<http://www.icmje.org/recommendations/>) by the International Committee of Medical Journal Editors (ICMJE) and the Principles of Transparency and Best Practice in Scholarly Publishing (a joint statement by the Committee on Publication Ethics [COPE], the Directory of Open Access Journals [DOAJ], the World Association for Medical Editors [WAME], and the Open Access Scholarly Publishers Association [OASPA]; <https://doaj.org/apply/transparency/>).

The points below provide general guidelines for the peer review process. Please thoroughly read the instructions and required ethics and policy state-

ments, along with the journal instructions. If you have any questions, please contact the Editorial Office of the Medical Education Japan.

E-mail: igakyou@shinoharashinsha.co.jp

II . Ethical Responsibilities of Reviewers

1) Timeliness

Your review comments for new submissions are due in four (4) weeks from the day you agreed to review the manuscript. If you are unable to meet the deadline, please contact the Editorial Office immediately so that the editor can decide whether to extend the deadline or assign an alternate reviewer. Your review comments for revised manuscripts are also due in four (4) weeks from the day it was assigned to you.

2) Conflict of Interest for Reviewers

Any potential conflicts of interest as a reviewer of a manuscript must be brought to the attention of the editor before you begin the review process. If you are involved, in present or in the past, in any part of the research presented in the manuscripts, including but not limited to financial interests, collaborating with the authors, and other relationships or connections, both professional or personal, with any of the authors, companies, or institutions related to the manuscript, which might prevent you from providing a fair and unbiased review, you should decline the review task and inform the editor so that another individual can be invited to review the manuscript.

3) Confidentiality

The review process will remain strictly confidential.

- Do not discuss or mention, in any way or to anyone, the contents of the paper before or after the review process.
- The manuscript submitted for peer-review is a privileged document. All materials must be treated in confidence. If additional advice from a colleague or any parties is thought to be helpful, please contact the Editorial Office in advance to obtain permission from the editor. Do not pass the manuscript on to your colleagues or other third parties without first obtaining the editor's consent.
- Before publication, the research described in the paper should not be used as a reference in the reviewer's own work. You must refrain from citing or referring to the work before its publication.
- Do not retain any copies of the reviewed manuscripts, and do not use their content or take scientific, financial, personal, or other advantage of

material available to you through the peer review process.

- Do not upload the manuscript to software or any AI-assisted tools or technologies.

4) Constructive Comments

Provide objective and constructive feedback in your review to encourage the author to improve the paper and their writing. When you find negative aspects, suggest concrete means for improvement. Refrain from being hostile or inflammatory and from making derogatory personal comments.

5) Impartiality

Reviewer comments should be based on an impartial consideration of the facts, exclusive of personal or professional bias. All comments should be based solely on the paper's scientific merit, originality, and quality of writing as well as on the relevance to the Medical Education Japan's scope and mission, without regard to race, ethnic origin, sex, religion, or citizenship of the authors. If you determine that you have a potential bias during the review of the paper, please notify the editor immediately.

6) Competence

You should accept an assignment only if you have adequate expertise to provide an authoritative assessment. If you think certain aspects of a manuscript are outside your field of expertise or realize that your expertise is limited, you should notify the Editorial Office so that we can decide whether you should continue and address your areas of expertise only, or whether to assign an alternate reviewer (s) .

7) Manuscripts You Have Previously Handled

If you are invited to assess a manuscript you previously reviewed for another journal, please consider the manuscript as a new submission. In such case, the authors may have made changes according to the previous review comments, and the Medical Education Japan's criteria for evaluation may differ from those of the other journal.

8) Ethical Policies

Please note any suspicious evidence of unethical conduct and bring it to the attention of the editor immediately. Please see our general publication ethics policies [here](#).

9) Use of Artificial Intelligence (AI)-Assisted Tools/Technologies

Reviewers are prohibited from uploading the manuscript to software or AI-assisted tools/technologies where the confidentiality is not assured. It is re-

quired to disclose to the journal if any AI-assisted tools or technologies are used to facilitate the review.

III . Invitation for Peer Review

1) General Process

Reviewer invitations are sent by e-mail from the submission system. Use the links in the e-mail to accept or decline the invitation to review. The invitation includes manuscript details which may help you to determine whether the subject of the manuscript is within your areas of expertise.

If you are unable to agree to review a manuscript, please click the decline link in the e-mail.

If you click the link to accept the invitation to review a manuscript, you will receive a notification via e-mail about how to log-in to our online system to access the manuscript and instructions for submitting your comments through the online system.

2) Revised Manuscripts

The revised version of a manuscript is normally sent back to some or all of the original reviewers for re-review. If you are assigned to review a manuscript you previously reviewed, please ensure that revisions requested in your original review have been addressed in the revised manuscript. Please be careful not to raise additional, or new, issues that were not addressed in the previous review comments, and make sure to limit any new amendments or additions to points that respond to the comments.

IV . Your Comments

1) General Guidelines

- Evaluate whether the submitted manuscript fits the scope and aim of the Medical Education Japan and demonstrates sufficient evidence of originality, in addition to the paper's validity and potential impact to the readership of the Journal.
- Your review comments should indicate whether the writing is clear and concise and whether the style of writing and structure of the paper are appropriate, which will allow the readers to understand the content easily.
- Evaluate the work's scientific accuracy and comment on any missing information or methodological flaws.
- All criticisms should be specific. Provide evidence with appropriate references to substantiate general statements to help editors in their evaluations and decisions and help authors with revisions.
- Any personal criticism against the authors, derogatory personal comments, or unfounded accusations must be avoided.

- Avoid making any negative comments or unjustified criticisms of any work that is mentioned in the manuscript.
- You should not suggest that the authors cite your work to increase your citation count. Suggestions must be based only on valid academic or technological reasons.
- Remain anonymous as the Journal operates a single-anonymized review process.

2) Points to Consider

Points to consider in your review include:

- Significance of the manuscript to the research community
- Interest and the potential impact to the broad readership of the Journal
- Weaknesses of the manuscript that need to be addressed in the revision process
- Accuracy of the title and abstract and keywords
- Sufficiency of contents, figures, and tables
- Appropriate and accurate references
- Quality and readability of the English language as presented in the manuscript
- Clarity of the aim
- Appropriate statistical analysis, if applicable
- Substantial data presented in the result section
- Conclusions supported by the data presented

3) Confidential Comments to the Editor

In the Medical Education Japan's peer review management system, there is a section titled "Confidential Comments to the Editor." Your comments in this section will be seen only by the editors, as these will not be sent to the authors. If there are any possible conflicts of interest, ethical issues, or any other comment you wish not to share to the authors, please comment regarding them in this section.

4) Comments to the Authors

Your peer review comments should include an introductory paragraph, which states your overall impression of the paper. This paragraph should be followed by specific comments, which may be divided into two sections such as major and minor points. Your comments are sent to the author as a part of the decision letter. However, please keep in mind that it is inappropriate to include any statements related to the acceptance or rejection of the paper.

5) Decisions on Manuscript Publication

All decisions on the manuscript publication, which include acceptance, revisions or rejection, are made by the editors of the Medical Education Japan after all the reviewer and editor reports are submitted and evaluated.